



ガバナー月信

vol.07 Jan / 2026



月信1月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 米山記念奨学生学友会総会
- ③ 青少年交換委員会報告
- ④ いよいよ始まる富山年度
- ⑤ 財団委員会通信
- ⑥ 地区主要行事予定 (1月・2月)
- ⑦ 新入会員紹介・訃報
- ⑧ コーディネーターニュース
- ⑨ ハイライトよねやま

Rotary
第2560地区



よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第 2560 地区
2025-26 年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー

室賀 信宏 (白根 RC)

皆様あけましておめでとうございます。

ガバナー公式訪問も皆様のご協力をいただき、昨年12月で無事終了することができました。訪問したすべてのクラブで温かいおもてなしをいただきましたことに感謝申し上げます。すべてのクラブで会員増強の重要性の認識とその取り組みを懸命に行っておりますことをあらためて確認することができました。十干の「丙」と十二支の「午」は、ともに陽の「火」を表し、太陽のような明るさや情熱、エネルギーが満ち溢れた縁起の良い年です。午年は、新しいことや困難なことに果敢に挑戦することで、大きな成果や成功が得られる年になります。会員増強においても必ずや今期残り6か月の間には、各クラブで素晴らしい結果がもたらされると確信しております。「人間万事塞翁が馬」ということわざがあります。昔、中国の塞翁という人が飼っていた馬が逃げたため、人々が慰めに行くと、塞翁は「このことが幸いを呼ぶかもしれない」と悲しむ様子はありませんでした。その後、逃げた馬が別の立派な馬を伴って戻ってきたということです。人の幸・不幸を予測することはできません。また、一見不幸に見える出来事が後に幸運につながったり、逆に幸運の前兆と思われたのに予想外の試練に見舞われることもあります。不幸と思える出来事も長期的には幸運につながると信じて、目の前の出来事に一喜一憂することなく、健康に留意しつつ、充実した1年にしていきましょう。私のガバナー任期もあと半年となりましたが、任期満了まで全力で努める所存です。あらためてどうぞよろしくお願い申し上げます。



米山記念奨学生学友会総会

2025-26 年度
米山記念奨学委員会
奨学生・学友委員

大田 幸子 (新潟万代 RC)

2025年11月8日(土)に、国際ロータリー第2560地区米山記念奨学生学友会総会がホテルオークラ新潟で開催されました。奨学生22名・学友8名・ロータリアン25名あわせて55名が参加しました。総会は、新潟米山学友会会長バウベクズ ジャンサヤさんの開会挨拶に始まり、米山記念奨学委員会渡邊嘉子委員長のご挨拶をいただきました。その後、バウベクズ ジャンサヤ会長から2024-25年度の学友会活動として、昨年の総会、12月のクリスマス会、3月のランチ交流会、6月の新潟市立岡方中学校異文化交流会の報告がありました。

2025-26年度の活動計画としては、学友会交流会やクリスマス会、2月にも親睦交流会を6月にはバーベキュー交流会と楽しい行事を計画していると発表がありました。総会に参加した奨学生や学友たちは、行事を楽しみたいと思ったことでしょう。引き続き決算報告があり、セン シュウ ケン 監事より、監査報告がありました。

総会は学友会理事のダシルワ プブドウさんからの閉会挨拶で閉会となりました。

その後は、楽しみにしていた親睦会です。

米山記念奨学会理事 高橋秀樹パストガバナーの開会挨拶と乾杯があり、ゲストとして高橋パストガバナーとガバナー同期の同じく米山奨学会理事 2580地区嶋村文男パストガバナーの紹介がありました。各テーブルで美味しいお料理と美味しい飲み物、楽しい会話を楽しみました。アトラクションでは、奨学生とご学友の一言自己紹介をしてもらい、ロータリアンから用意したプレゼントを一人ずつに手渡しました。あっという間に楽しい時間が過ぎました。中締めには 学友会幹事 ダシルワ プブドウさんが挨拶をして、親睦会もお開きとなりました。奨学生・学友・ロータリアンが一同揃って記念写真で全員、最高の笑顔で終了した総会となりました。最後になりますが、奨学生・ご学友・ロータリアンの皆様の益々のご活躍と健勝をお祈り申し上げます。







青少年交換 選考試験 & クリスマス会のご報告

青少年交換委員会
委員

間藤 秀一 (新発田 RC)

皆様には日頃より青少年交換委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る 11 月 22 日（土）に 2026-27 年度の短期・長期派遣学生選考試験、および 12 月 13 日（土）に第 1 回オリエンテーション&クリスマス会が、いずれもホテルオークラ新潟にて行われました。選考試験では今年度は短期派遣に 2 名（うち 1 名は欠席）、長期派遣に 2 名の学生に応募いただき、当日は 3 名の学生に筆記試験・英語のスピーキング試験、および面接試験を行いました。学校の入学試験のような本格的な試験に、受験された学生達はそれぞれ大変緊張した様子でしたが、無事全員合格の通知を後日送付させていただきました。面接試験には面接官として室賀ガバナーの代理として関根功雄地区幹事、富山洋ガバナーエレクト、清水信博青少年奉仕委員長にもご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

また 12 月 13 日の第 1 回オリエンテーションでは、4 名の派遣候補学生・保護者・ホストクラブ担当者を対象に説明会を実施しました。このオリエンテーションは来年 8 月に予定している派遣までに計 4 回実施し、その初回となる今回は改めて派遣学生に必要なロータリーの知識や心構え、予防接種や情報管理システムについての説明を行いました。学生・保護者には、あくまでロータリーの青少年交換プログラムは普通の留学とは違い、親善大使として派遣国と日本との友好の架け橋を担い、ひいては世界平和を目的としていることをよく理解していただけたと思っております。

またその後行われたクリスマス会では、今年度派遣を終えた 6 名の学生にディプロマ（修了証書）の授与式も行いました。改めて派遣を経験した学生たちの派遣前とは全く違う堂々とした立ち振る舞いに、このプログラムの価値を再確認いたしました。そして新潟ローテックス会主催のクリスマス会としては、現在地区内に受入れ中の 2 名の学生も加わり、美味しい料理を食べながらローテックスが考えたゲームやプレゼント交換で大変盛り上がりました。参加されたロータリアンからも「お酒の出ない懇親会で、こんなに楽しかったのは初めてだ」とのお話をいただき、改めてご参加された皆様とクリスマス会を企画したローテックスの皆さんに感謝申し上げます。

今後も青少年交換プログラムへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。







いよいよ始まる富山年度 「ロータリーで人生をより充実させよう」

ガバナーエレクト

富山 洋 (雪国魚沼 RC)

室賀ガバナーの国際協議会壮行会が2025年1月25日に開催されたとき、私は「あと1年か…しっかり準備していこう」と心に誓いました。けれど、時は矢のように過ぎ、気づけば自分自身の壮行会の日を迎えていました。同日には第1回地区運営会議も行われ、そこで初めて富山年度の運営方針を皆様にお諮りし、温かいご意見を数多く頂戴しました。心から感謝申し上げます。

私は先の地区大会で「普通のおじさん」宣言をいたしました。ロータリーに詳しくない人の目線も大切にしながら進めていきたい、そうお伝えしました。

けれど、このガバナーという役職をいただいたことで、数々のラーニングやセミナーに触れる機会を得て、学ばば学ぶほどロータリーという組織の素晴らしさを実感しています。

ロータリアンであること自体が誇りであり、さらにロータリーには人生をより豊かにする数多くのプログラムがあります。人の生きがいは何か、私は「人の役に立つこと」だと思っています。身近な人、異国のまだ会ったことのない人、その誰かが私たちロータリアンに「ありがとう」と言ってくださる。その瞬間こそが、私たちの喜びであり、存在の意味なのです。

この喜びをさらに広げ、まだロータリーに出会っていない方々にも伝え、仲間として迎え入れましょう。

また、会議やセミナーの時間が長いというご意見もいただいています。時代はAIやIT、DXの活用へと進んでいます。支障のないものについてはWEB会議を取り入れ、地区大会も時間短縮を検討してまいります。

国際協議会にてRI会長メッセージを受け、皆様にお伝えし、今後の事業の準備を進めてまいります。どうか共に力を合わせ、富山年度を盛り上げていきましょう、よろしくお願いいたします。

「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信

ロータリー財団 補助金管理セミナー開催

ロータリー財団委員会

寄付・資金・ポリオプラス副委員長 近 恵子（中条胎内 RC）

11月29日（土）ホテルイタリア軒にて富山年度に向けての補助金管理セミナーが開催されました。この会は次年度の補助金申請に際し参加資格の認定を受けるにあたって、ロータリー財団から提供される覚書（MOU）に記載された財務と資金管理の要件を遂行すること、およびこの会に最低1名のクラブ会員が出席すること、が義務付けられております。

当日は2560地区の各クラブから次年度会長や幹事、財団委員長等、多くの方々に参加いただきました。

室賀ガバナーの開会挨拶から始まり富山ガバナーエレクトの次年度地区財団目標の発表。高尾地区財団委員長から次年度クラブリーダーに向けてのメッセージ。中町寄付・資金・ポリオプラス委員長からは、財団への寄付はなぜ必要か？というテーマで皆さんに説明があり、その後、木村補助金委員長、今井補助金副委員長、品田補助金副委員長から本会のメインテーマである地区補助金、グローバル補助金、地区補助金システムについての説明がなされました。

コーヒブレークをはさみ本多奨学金・学友会・VTT委員長から財団奨学金プログラムの説明、武田地区財団副委員長からは財団補助金の管理、および継続事業・地区補助金運営についての説明が細やかになされました。

財団側からの説明後質疑応答では、継続事業についての更に進んだ質問や、使われなかった補助金の余剰金はどこに行くのか、また年次基金はどのように運用されどのくらい使うことができるのか？など活発な質問が挙がり、財団への理解が深まってきた上での質問であると実感いたしました。

今後、この地区補助金を使い地域でよいことを行い、またグローバル補助金を使い世界でよいことをするクラブが一つでも増えることを願い皆様のロータリー財団に対するご理解とご協力を一層深めていただきたいと熱望いたします。



第 2560 地区 2025-26 年度 11 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	11月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	/	-	378	381	45	3
新発田	2	31.5%	90	92	2	2
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	31.4%	34	35	2	1
中条	4	100.0%	48	49	3	1
新発田城南	4	23.7%	38	38	5	0
豊栄	2	35.0%	21	20	2	-1
新発田中央	4	18.2%	44	44	5	0
中条胎内	2	51.3%	39	39	11	0
村上岩船	2	26.9%	26	26	7	0
第2分区 (9クラブ)	/	-	453	473	37	20
新潟	4	35.4%	74	76	3	2
新潟東	4	17.1%	66	76	12	10
新潟南	4	38.3%	114	114	8	0
佐渡	1	66.7%	3	3	0	0
新潟西	4	63.2%	53	57	4	4
佐渡南	4	11.4%	43	44	4	1
新潟北	2	29.3%	37	41	1	4
新潟中央	3	36.0%	24	25	0	1
新潟万代	2	56.8%	39	37	5	-2
第3分区 (5クラブ)	/	-	97	101	10	4
新津	3	58.8%	16	16	1	0
村松	4	65.0%	19	20	2	1
白根	4	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	40.0%	25	26	5	1
阿賀野川ライン	3	60.0%	5	5	0	0
第4分区 (11クラブ)	/	-	343	346	35	3
三条	3	17.9%	54	56	1	2
燕	4	10.0%	41	40	3	-1
加茂	3	14.8%	27	27	4	0
三条南	2	20.5%	38	39	3	1
分水	4	64.7%	33	34	5	1
見附	3	10.0%	20	19	1	-1
吉田	2	0.0%	23	22	3	-1
三条北	3	19.6%	46	46	5	0
巻	3	8.7%	22	23	2	1
田上あじさい	4	16.7%	5	5	2	0
三条東	3	23.5%	34	35	6	1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	11月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	/	-	283	294	28	11
長岡	3	60.9%	43	47	5	4
柏崎	4	39.6%	45	48	0	3
長岡東	3	32.2%	57	59	7	2
柏崎東	2	19.5%	38	41	4	3
栃尾	4	36.8%	19	19	1	0
長岡西	3	25.0%	46	44	1	-2
柏崎中央	2	27.0%	35	36	10	1
第6分区 (6クラブ)	/	-	117	120	14	3
十日町	3	26.3%	38	38	8	0
小千谷	3	17.9%	25	28	3	3
雪国魚沼	3	76.0%	25	25	2	0
十日町北	2	0.0%	9	10	1	1
津南	2	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	2	50.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	/	-	305	321	23	16
高田	3	37.3%	63	67	3	4
直江津	3	32.9%	74	79	7	5
新井妙高	2	21.6%	36	37	1	1
糸魚川	4	81.4%	45	46	3	1
高田東	2	50.0%	30	32	2	2
糸魚川中央	3	60.6%	30	33	3	3
越後春日山	3	81.5%	27	27	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
11月末会員数	2,036 人
女性会員数	192 人
純増減会員数	60 人
My Rotaryアカウント登録率	36.4 %

地区主要行事予定

2025年12月19日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2026年 (R8) 室賀年度	1月	職業奉仕月間			
		11~15	(日~木)	国際協議会	オーランド(米国フロリダ州)
		17	(土)	2026学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル
	31	(土)	国際協議会報告・地区チームラーニングセミナー・地区諮問委員会・第2回地区運営会議	ホテルイタリア軒	
	2月	平和構築と紛争予防月間			
		7	(土)	第2回派遣学生オリエンテーション	オンライン
14		(土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルオークラ新潟	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
佐渡南	岡田 紗季	2025.11.01	エックスモバイル佐渡店	店長	通信機器販売
村松	加藤 直子	2025.11.01	加藤歯科医院	副院長	歯科衛生士
三条東	長谷川 玲奈	2025.11.06	羽賀美掃	代表	清掃業
新潟東	細谷 雄平	2025.11.14	(株)ビジネスコンサルタント IP本部営業部新潟チーム	チームリーダー	経営コンサルティング
新潟西	本間 陽一	2025.11.20	サンエス(株)	代表取締役	仮設工事
長岡	櫻井 誠	2025.11.25	櫻井総業(株)	代表取締役	建設業
新潟	村山 雄亮	2025.12.02	弁護士法人新潟シティ法律事務所	代表社員弁護士	民事弁護士
新潟	大杉 一宏	2025.12.02	(株)オオスギテック	代表取締役	建築
小千谷	大矢 弘光	2025.12.02	小千谷市錦鯉漁業協同組合	組合長	養鯉団体
中条胎内	大塚 雄一	2025.12.05	(有)梅月堂	代表取締役社長	菓子製造販売
長岡	小川 卓	2025.12.09	3t ive. design 合同会社	代表社員	製造業専門クリエイティブ業



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 新保 清久（新潟万代 RC）

第1地域ロータリー財団コーディネーター補佐の新保清久（第2560地区・新潟万代 RC）です。新井和雄 RRFC の補佐として職務を務めて半年過ぎましたが、地域リーダー会議やロータリー財団の委員長会議、ロータリー研究会、ロータリー財団地域セミナー等に参加して最新の情報を学んでまいりました。あらためてロータリーの発展には、ロータリー財団の拡充が欠かせないことを確認しました。

さて、年度初めに寄付金について新井 RRFC から会員に寄付の目標達成の願いをするよりも、まずはロータリー財団のインパクトを伝えるように指示がありました。地区補助金やグローバル補助金を活用して地域や世界で実施するロータリーの奉仕活動は、寄付してくれた「あなたのおかげです」と会員にサンキューレターなどで感謝の意を表する活動を地区、クラブで広めるようにと指示を受けました。



近々に担当する4地区のロータリー財団委員長さんと会議を開催して、各地区のロータリー財団セミナーなどで寄付者にもっと感謝が伝わる取り組みと寄付金ゼロクラブゼロや寄付状況の確認等々情報交換をしたいと思います。併せて2013年度から始まりました世界のポール・ハリス・ソサエティ（以下 PHS）の会員数は、会員全体の約2%にもかかわらず、年次寄付の22%、恒久基金を含めた財団寄付全体の20%を占めていることから PHS 会員の拡大に注力することやまた恒久基金の前年度の運用益が12%であり死んだ後でも財政的に社会貢献できる恒久基金への寄付を促すこと、DDF（地区財団活動資金）の繰越金は、地区の恒久基金として設立可能であること等も周知していきたいと思ます。

小生は、今から30数年前にロータリークラブに入会した際に先輩からロータリー財団は、毎年100ドルを寄付すればよいと教えられたくらい理解でしたが、図らずもガバナーになり、その後、地区ロータリー財団委員長に就任しまして、各クラブにもっと分かりやすく、身近なロータリー財団を目指して、委員会の人事や地区補助金の支給基準を見直しました。その効果は、地区補助金の申請件数が一挙に3倍になり、現在も約70%以上のクラブが地区補助金やグローバル補助金を申請して奉仕活動に活用しています。

また前年度に第2560地区では、地区補助金の申請・報告を電子システム化して申請フォーマットに記載することで補助金委員会ははじめ関係部署の負担を減らすことができました。情報の共有化と入力ミス、添付漏れの自動チェックにより経験のない会員でも正確に申請書・報告書の作成が可能となり作業時間が削減されて大いに効果を発揮しています。最後になりますが、時代に追いつき適応しようとしているロータリーを支えるロータリー財団の理解者、協力者をもっと増やすために様々な仕方があると思いますので関係各位のご教授をいただき任務を務めて参りたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。



笑いあり、涙あり「3つの手法」を熱演

第2地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 樋口 明（神奈川 RC）

第2地域では、若林 英博 RMC が提唱された「3つの手法（戦略的オープン例会・衛星クラブの設立・クラブ独自の会員種）」の実践を強力に押し進めております。

1.戦略的オープン例会(ロータリーの友 2025年8月号P10,11 参照):会員増強は総論だけでは机上の空論に過ぎず、緻密に計画しクラブ一丸となって取り組むという泥臭さこそ重要であります。戦略的オープン例会は、会員増強の面が強調されがちではありますが、実は会員維持の側面が強いものです。ゲスト(会員候補者)の情報を事前に共有し、会員全員が役割分担をしてゲストを温かく迎えるためには、クラブ全員で取り組まなければならない、それにより結束力が高まり、大いに盛り上がり、活性化に繋がることになります。



2.衛星クラブの設立:柔軟で参加しやすく自主的に運営ができることが、最大の魅力です。「元会員」、「会社の仲間」、「趣味の仲間」、「同窓生」、「地域の仲間」、「奉仕活動の仲間」など、さまざまなつながりから創ることができ、衛星クラブは、無限の可能性を秘めています。

3.クラブ独自の会員種別:心の底からロータリーが大好きな方に、手を差し伸べる仕組みです。「シニア」、「家族」、「Web」、「法人」、「準会員」、「ユース」など。常日頃より会員のことを第一に考えていれば、自然とアイデアが湧いてくるはずですよ。

皆様のご記憶に新しいことと思いますが、昨年11月19日、20日に横浜で開催されました【第54回ロータリー研究会】の第1セッション「もっと元気なクラブになろうー増減カーブを前年より上向きに」では、3つの手法を体現する寸劇をご披露しました。企画立案、シナリオ、キャスティング、演技指導等々、総監督である若林 RMC の思いが込められた名作でありました。迫真の演技をご披露くださいました俳優陣の皆様には、心より御礼申し上げます。

(写真左:白鳥敬日瑚 ARMC 写真右:黒川伸一 ARMC)



また、第3セッションの「退会防止とクラブの持続的成長」では、2024-27年度RI会員増強委員会の岩澤あゆみ委員(RID2780 茅ヶ崎 RC)にご講演いただきました。

【ロータリーの未来は「居場所づくり」から始まる】

Connection Purpose Growth
心がつながるクラブは、会員が育ち、人が集まり、未来へと続く。

行動しなければ、何も変わりません。

まずは、やってみましょう！



謹賀新年

第3地域 ローターリー公共イメージコーディネーター補佐 谷 宗光(和泉 RC)

親愛なるロータリー会員のみなさま。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

私たちロータリー会員は、2026年も四つのテストに照らし、

・真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうかを
心にたずさえて、地域社会や世界のさまざまな問題解決のために、人道的奉仕活動を行い、
高い倫理基準の措置と、人間形成のために日々精進して参りましょう。



さて、私たちロータリー公共イメージコーディネーターチームでは、昨年も10月の「世界ポリオデー」を前面にPRし、同時にロータリーの知名度向上のために、日本経済新聞(10月18日)に一面広告を掲載させて頂きました。

それと時を同じくして全国の各クラブ・各地区で、開催して頂いております、様々なイベント活動の記録にあたる「ポリオ根絶フォトコンテスト」の募集もさせて頂きました。ロータリーは長年にわたりポリオ(小児まひ)の根絶に対し支援して来ており、ワクチン提供や啓発活動を続けています。その活動の一コマの写真は、どの作品も、「見る人に感動を与え、ポリオ根絶への願いを伝える一枚」となっていました。その選考は、単なる集合写真ではなく「想い」「ストーリー性」「メッセージ性」を重視させて頂きました。

そして応募総数194件がエントリーされ、地域リーダーの皆様の厳正なる投票で、194件から8件を入選作とさせて頂き、その8件の中からRI会長賞、RI理事賞等の各賞を決定させて頂きました。

- ・RI会長賞 2790地区 富里 RC
- ・TRF管理委員長賞 2820地区 水戸 RC
- ・RI理事賞-1 2690地区 松江南 RC 理事名:スーザン・ステンバーグ
- ・RI理事賞-2 2500地区 釧路北 RC 理事名:サルバドール・リッツォ・ダバレス
- ・水野 RI 理事賞 2720地区 熊本中央 RC
- ・辰野 TRF 管理委員賞 2790地区 千葉西 RC
- ・四宮 RI 理事エレクト賞 2790地区 千葉 RC
- ・中谷 RI 理事エレクト賞 2820地区 北茨城 RC

応募いただきました皆様本当にありがとうございました。

今年も引き続き、この事業は行われる予定だと伺っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



1 世話クラブに入会 — 受けた恩を次世代に —

24,000人を超えた米山学友の中には、ロータリークラブに入会し、積極的に奉仕活動を行う学友がいます。今回は、そのひとりである金相均^{キムサン}さん（韓国／2011-13／静岡RC）に、これまでの歩みと想いを語っていただきました。

— 米山奨学生時代を振り返って

多くの方々に温かく支えていただきました。例会参加を通じ、日本の文化や価値観に触れる中で、「与えられる側から社会へ返す側へ」という心構えを学びました。奉仕の精神に触れ、私も誰かのために行動したいと強く感じました。

— ロータリークラブ入会から現在まで

受けたご支援への恩送りを形にしたいと考え、会社員から個人事業主となった際に「子どもの未来を守り、無限の可能性を広げる」という理念を掲げました。そこで、社会貢献への思い、自分自身を成長させたいという願いが重なり、世話クラブである静岡RCに入会しました。現在は例会や奉仕活動、卓話などに積極的に参加しています。

— 米山奨学事業に対する景色の変化

奨学生時代から大きく変わりました。当時は「支援していただく側」という意識でしたが、



静岡北 RC で卓話した金さん(右)

会員になると、あの頃には見えなかった多くの努力を目の当たりにしました。奨学生の選考、世話クラブの準備など、奨学生のために動いている姿を知り、事業の重みと尊さを改めて感じました。今では「支援を受けた経験を次世代につなぐこと」を意識し、活動しています。

— 米山学友のロータリー会員として

奨学生に寄り添い、相談しやすい先輩であること。寄付は義務ではなく「未来への投資」と伝えること。奨学事業の力を自ら体現することを大切にしています。今後は「国際理解と友情の架け橋になること」を目標に、奉仕プロジェクトにも主体的に関わり、地域と世界のために行動できる会員を目指していきます。子どもの未来を守る活動にも力を入れていきたいと考えています。

2 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

-6.9%

普 -1.5% 特 -9.5%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて6.9%減（普通寄付金:1.5%減、特別寄付金:9.5%減）、約4,500万円の減少となりま

した。当月は匿名を含め7件の大口寄付がありました。今年も残すところ半月ほどですが、12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目にご送金くださいますようお願いいたします。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末日までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日（火）当会着金分までが対象**

米山記念奨学会事務局は、12月27日（土）～1月5日（月）の間休業させていただきます。来年は1月6日（火）より通常業務となります。



3 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催

2026-27 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 1 回セミナーを 12 月 1 日、都内ホテルで開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、事務局から学務・学友関連について説明。そして、危機管理につ



いて吉田知弘常務理事からお話いただいた後、事例発表として、第 2650 地区の片山隆永委員長から年間の流れや危機管理対応等について発表していただきました。

午後の部では、事務局から広報、寄付について説明。続いて第 2700 地区の事例発表として、尾畑和隆次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後 4 グループに分かれて各地区における課題などについてのディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實副理事長の講評で締めくくられました。

4 来年の年賀状は学友がデザイン

当財団では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山記念奨学委員長、米山奨学生、日本在住の米山学友などへ毎年年賀状を送っています。

午年となる 2026 年の年賀状は、女子美術大学美術専攻洋画研究領域博士課程を修了した中国出身の米山学友、^{サブンティ}查雯婷さん(2022-24/相模原南 R C)のデザインです。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。



< 查雯婷さんより >

縁起の良い動物である馬と、私の創作テーマである反転した猫の頭を融合させた作品です。「成功」や「飛躍」を象徴する馬に、視点を反転させる猫の要素を加え、新たな一年に向けてお世話になった方々と新しい学生たちへ、感謝と応援の気持ちを込めました。「2026」の数字は、巳年の蛇をモチーフにし、巳年から午年へのバトンタッチを表現しています。

上海米山学友会 総会開催のご案内

- ◇2026 年 1 月 17 日 (土) 16:30~20:30
- ◇会場：上海市内 (申込終了後に決定)
- ◇申込先：alumni@rotary-yoneyama.or.jp

※12/24 (水) 申込締切

[要記載事項] 代表者氏名、その他参加者氏名 (全員分)、クラブ名、連絡先 (メールおよび電話番号)

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限 2 人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。国内在住の学友には 25 万円、海外在住の学友には 35 万円を上限に、補助いたします。

詳細はこちら

